

留学体験記 (ジャクソンビル大学/米国フロリダ州)

What I Experienced at Jacksonville University

会計研究科 2 年 諸山 えみ (留学期間: 2019 年 8 月-12 月)



ジャクソンビル大学(以下 JU)では、キャンパス内を中心に友人たちと過ごすことが多いです。ほとんど全ての学生がキャンパス内の寮やアパートに住むので、毎日を友人と過ごしていました。実際に、私も学内のアパートメントでルームシェアをする形で暮らしていました。共有スペースと個室(4 名)がしっかり分けられていて、ルームメイトと楽しく談笑をしつつ、自分ひとりの時間も確保できていた点がとても良かったです。平日は授業に出席し、空き時間にはジムや図書館やカフェテリアに行き、試験期間以外の週末には海やタウンセンター(日本でいうアウトレットモールのようなもの)に出かけました。

大学院生用の授業は、学期を 2 つに分けたクォーター制が採られています。会計研では馴染み深いですね！エネルギーな先生方による全 8 回(×3.5h)の授業で、毎回あっという間に時間が過ぎていくようでした。授業がボリュームでハイペースな分、1 回の授業で課される課題の量も多いですが、やりがいもその分大きいです。私が履修した 3 科目(9 単位分)の中で特に印象に残っている授業は、"Leading People & Organizations"です。会計学とは一線を画した経営学系の授業で、グループディスカッションや授業を通して、アメリカならではの視点でリーダーシップについて考えるきっかけとなりました。



また、サークル活動も留学生活には欠かせません。学部生、院生問わず自由に参加できる点もとても好印象でした。私は、ISA (International Student Association) と Outing Club に参加していました。特に ISA の友人たちと過ごすことが多かったです。アメリカ国外からの学生を中心に構成されており、国際色豊かな友人に囲まれて学ぶことがたくさんありました。Outing Club では、カヤックやキャンプ、ロッククライミングを楽しみました。私にとってこれらの活動は、共通の趣味を持つ友人たちとコミュニケーションを取る最高の機会でした。

4 ヶ月間の留学プログラムは、会計研に設置されている他のどのプログラムよりも期間が長いので、つい時間がたくさんあると油断してしまいそうになります。しかし、現地に実際に着いたのち、毎週の授業や課題、試験に向けた準備を重ねていくうちに、あっという間に時間が過ぎていくのを肌で感じることにと思います。東京とは違い、車がないと自由に歩くことができない環境のなかで、それを精一杯生かして日々勉強に励んだり、友人と楽しく過ごしたりなど、1 日 1 日をどれほど充実したものにするかは、自分次第です。会計研自体初の JU への交換留学生ということもあり、手探りのまま進む手続きや新天地での生活に対して、不安に思うことも多々ありました。しかし、会計研の先生方や事務所の方々をはじめ、JU のコーディネータの方々、友人たちに支えていただいたおかげで充実した日々を過ごすことができました。本当にありがとうございました。今これを手に取っているみなさんも、会計研で過ごす最後のセメスターをより素晴らしいものにするための選択肢のひとつとして、JU への留学をぜひ考えてみてください。

